

他自治体の事例

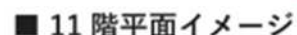
令和7年7月2日
政策経営部新庁舎整備推進課

葛飾区（防災）



「葛飾区 新総合庁舎の整備概要書計画」より

分類	項目
災害対策本部の機能発揮	災害対策本部と区長室を集約配置
バックアップ	被災しにくい中圧ガスと燃料備蓄による非常発電など
その他	備蓄を運びやすいエレベータ横に配置 FMスタジオの設置、屋上ヘリポートの設置



分類	項目
災害対策本部の機能発揮	特別職と災害対策関連諸室を非浸水階に配置 関係機関応援諸室の拡張性のため可動壁で一体利用
バックアップ	地震に強い中圧ガスの採用、非常用発電の多重化 上水災害用浄化システム、雑用水防災井戸、下水緊急排水層
その他	歩行者デッキ整備、免振層・機械室の非浸水化、屋上ヘリポート

川崎市（防災）

災害時の業務継続対策

- インフラの多重化により、業務継続性を確保し、災害対応力の高い計画としています。
- 災害発生時の初動期から3ヶ月以上に及ぶ長期復旧活動において、災害対策活動の中核拠点として業務継続できる計画としています。
- 地震後の建物状態を把握するための構造モニタリングシステムを採用しています。



「川崎市新本庁舎設計概要（パンフレット）」より

分類	項目
災害対策本部の機能発揮	災害対策本部と関連諸室を常設
バックアップ	7日間の電力供給（燃料、中圧ガスによる発電）、上下水道の確保 排水再利用、汚水貯留

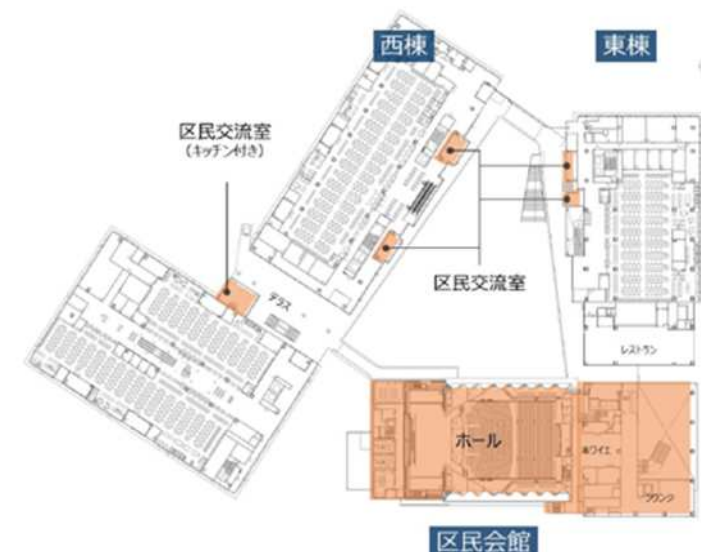
世田谷区（交流・協働）

- 区役所と区民会館の複合施設。「交流」「文化・芸術」「みどり」の軸に「区民交流スペース」等を整備

● 1階平面図及び地下1階平面図



● 2階平面図



● 6階屋上庭園（東棟）



「世田谷区本庁舎等における区民利用・交流拠点施設運営基本計画」より

川崎市（交流・協働）

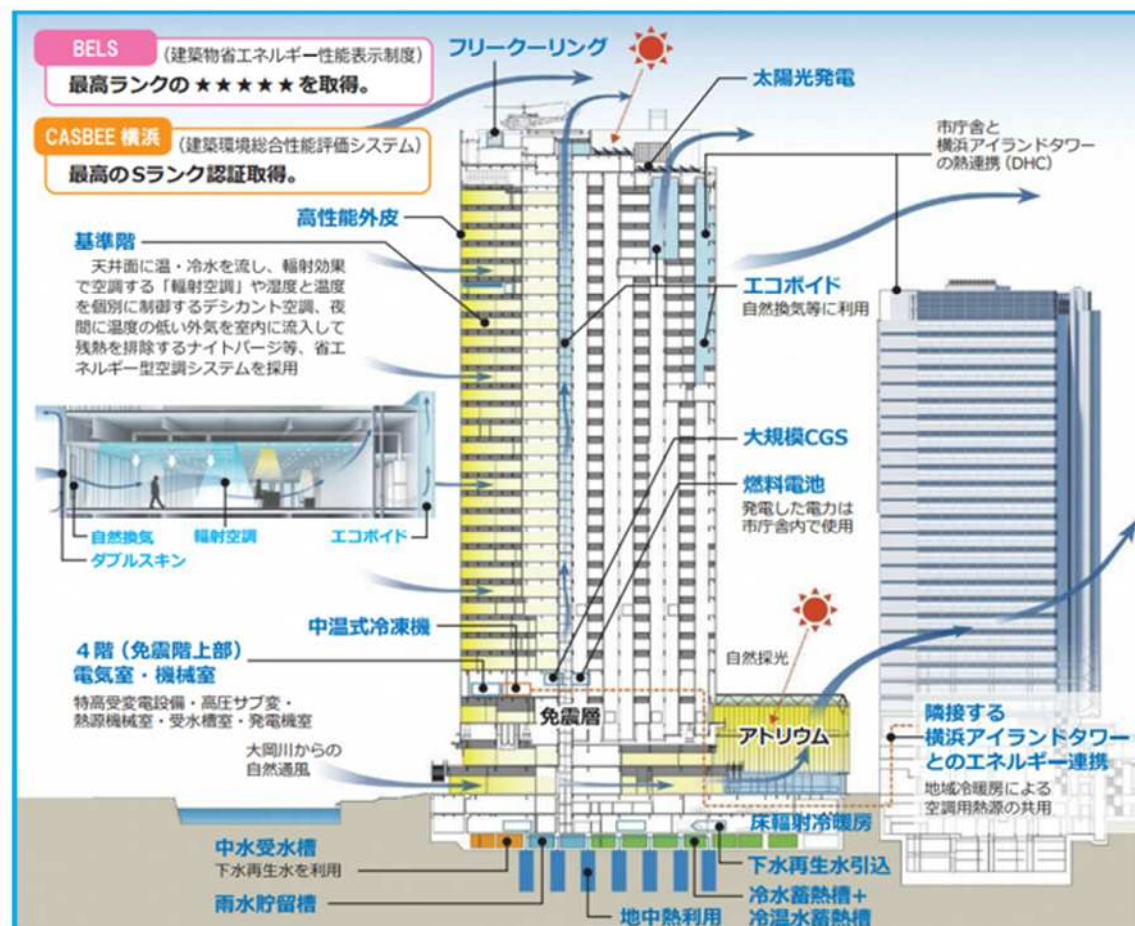
- 半屋外のアトリウム、情報プラザやカフェ、コンビニ、研修・大会議室、屋外庭園等を配置
- 最上部には展望ロビー、スカイデッキ配置



「川崎市新本庁舎設計概要（パンフレット）」より

横浜市（性能）

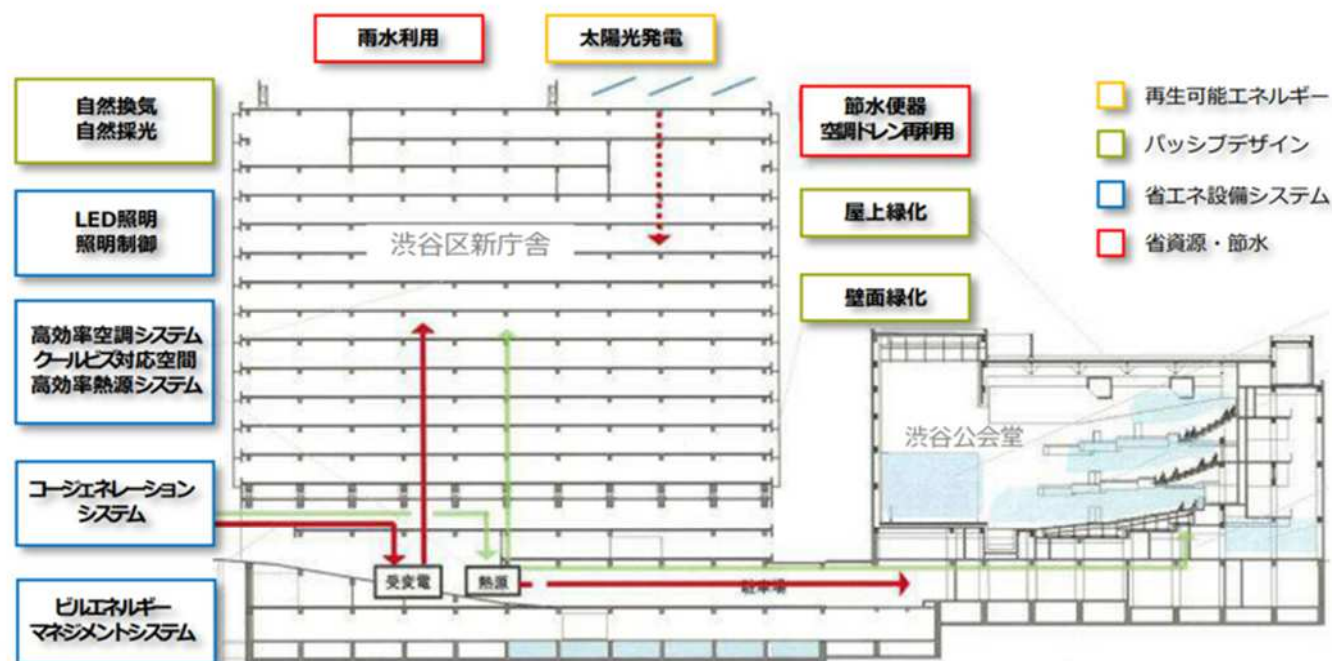
- BELS、CASBEE等の視点でも高い性能
- 地中熱の導入、隣接ビルとのエネルギー連携



横浜市新市庁舎整備パンフレットより

渋谷区（性能）

- 太陽光パネルの設置、緑化・高断熱ガラスの採用、自然採光・自然通風の取り込み、外気の冷気の利用、省エネタイプの照明の採用、コージェネレーションシステムの採用など
- BEMSによって庁舎で使用する機器・設備などの運転管理やエネルギー監視を一元的に管理



「渋谷区新庁舎 2019.1新庁舎整備計画」より